



Yuta Igarashi

荒砥高2年
五十嵐悠太くん

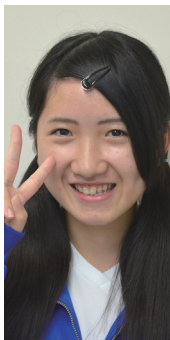
食事や交通マナー、学校生活など、様々なカルチャーショックを受けましたが、それは現地に行って体験したからこそのものでした。英語での会話はうまくできませんでしたが、ホストファミリーに優しく接してもらったり、ケアンズの良いところ紹介してもらってとても勉強になりました。また、市場や海など、白鷹町にはないものばかりで、驚きもありました。この研修で学んだことを、これからたくさんの人に広めていきたいです。



Mutsuomi Matsuda

荒砥高2年
松田 睦美さん

最初は何を話したらよいか分かりませんでしたでしたが、自分が用意した家族や友人の写真を見せたり、パディにも写真を見せてもらったりして話題が広がり、会話を楽しむことができました。そして、初めて海外の友達ができて世界が広がったように感じました。研修では自分の英語力の低さを改めて実感し、とても悔しい思いをしたので、また一から英語を勉強し直して、もう一度現地の人とたくさんコミュニケーションを取りたいと思いました。



Erika Marukawa

荒砥高2年
丸川恵理花さん

はじめはすごく緊張して、どのように話しかけたらよいか分かりませんでした。現地ですごく話せる人とお話することができ、二度とできないような体験になりました。また、日本食のお店に行った際、うどんに七味とうがらしがたくさん入っていて「日本のうどんはこんな感じじゃないのに!!」と強く思いました。たくさんの方の勇気を得られたこの研修をもっと多くの人に体験してもらいたいため、ぜひ来年も研修を行っていただきたいと思いました。



Hiroka Aho

白鷹中3年
安部 央華さん

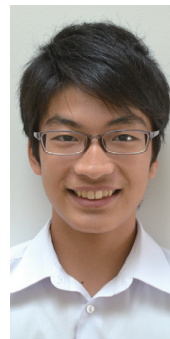
現地で感じたことは「知ることの大切さ」です。不安だと言っただけでは何も始まらない、とにかく知ることが大切なのだと思います。お店で注文をするときもとても緊張しましたが、きちんと注文できたときはとてもうれしかったです。必ずしも、発音の良い英語で長文をペラペラ話せることが素晴らしいのではなく、積極的に話そうという気持ちがあれば、通じ合っつながることができるのだということ学びました。



Ayumu Kaneda

白鷹中3年
金田柗太郎くん

自然の豊かさ、先住民族異文化体験、動物とのふれあい、見るものやることの全てが初めてで驚きと感動にあふれました。学校訪問とホームステイは今までで一番緊張し、不安でしたが、自分自身とても成長できたと思います。言語、文化、食、人柄の違いに対する正解はありませんが、自分が良いと思うことをしっかりとみんなにも発信していき、自分のためにもみんなのためにも、研修が意味のあるものだったということを証明してみせたいです。



Ayumu Hina

白鷹中3年
海老名翔太くん

はじめは相手にうまく伝わるか不安でしたが、「うまく伝えられなくて当たり前だ」という気持ちで恥ずかしさをふきったら会話がどんどん楽しくなりました。また、会話の中で「Thank you. (ありがとう)」や「Please. (～して)」は気軽に使える言葉であり、「言わなくても伝わる」ではなく、言葉として自分の気持ちを表現しなければならぬと思いました。今回学んだことを自分だけのものにせず、これからみんなに伝えていきたいです。



Takuya Sawada

白鷹中3年
澤田多喜也くん

現地に行く前、「一生懸命やれば伝わる」と言われていたのですが、そうとは思っていませんでした。しかし、現地での様々な体験の中で、正しい文法ではなくても身振りやジェスチャーで一生懸命伝えようとするだけで伝わるのだと分かりました。また、10カ国の人に話しかけるという課題の中、韓国人など英語圏外の人でも上手に英語を話しており、これからグローバルに活躍していくにはやはり英語が大切なのだとよくわかりました。



Miyuka Haya

白鷹中3年
芳賀美優花さん

学校訪問で、パディがとてもフレンドリーに話しかけてくれたおかげで心細い気持ちもなくなりました。ホームステイ先でも、ホストファミリーと会話をしたり、子どもと遊んだりして、話す言葉は違ってもお互いを思いやることでこんなに楽しくなるものなんだと実感しました。私は研修を通して、英語でのコミュニケーション力が上がり、自信がつけました。人生の宝物になったこの経験を大切に、これからの生活に活かしていきたいです。